



①_取り付けプレートを取り付ける

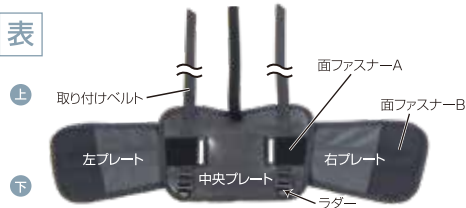
★ プレートの取り付けベルトはラダーから外しておきます。

重要

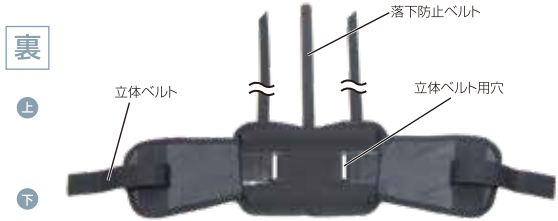
取り付けプレートの
上下を確認してくだ
さい。
上下逆さまでは取り
付けできません。

取り付け
プレート

表



裏



① 取り付けプレートを上から見たときに、左右のプレートが中央プレートに対して直角になるように立体ベルトを調節します。

立体ベルトをプレートの裏側から立体ベルト用穴
に通し、プレート表側の面ファスナーAと立体ベ
ルトの面ファスナーを貼り合わせて調節します。

※力が加かる部分ですので、外れないようにしっかり
と貼り合わせてください。



★左右のプレートを持ち外側に少し力を加え、立体ベルトがピンと張った状態で確認してください。

★ 面ファスナーBのある面(表)を外側にし、上下を確認して取り付けしていきます。

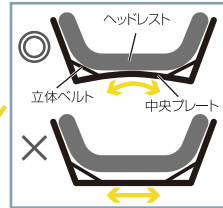
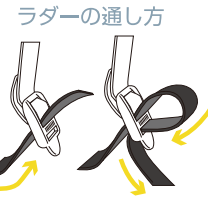


ヘッドレストが固定タイプのシートの場合

② 取り付けベルトをヘッドレストの上から回し、シートベルトの穴に座席側から差し込み裏側から引き抜きます。



③ 取り付けベルトをラダーに通し、中央プレートが少し反る程度まで強く締めます。



★取り付けベルトは、左右交互に数回に分けて締めることをおすすめします。
※取り付けベルトはしっかりと締めてください。緩みがある状態で使用しますと脱落の原因となり大変危険です。

④ 余った取り付けベルトを短く結び、左右のプレートのバランスを整えたら取り付け完了です。

左右のプレートが上下に大きく動く場合は立体ベルトを締めなおしてください。



ヘッドレストが上下するタイプのシートの場合

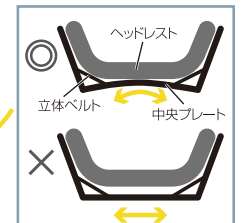
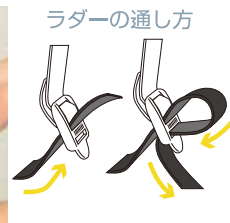
★まず、プレートを取り付け
やすくするためヘッドレストを
一番高い位置にしておきます。



② 取り付けベルトをヘッ
ドレストの上から回し、後ろ
に持っていきます。



③ 取り付けベルトをラダーに通し、中央プレートが少し反る程度まで強く締めます。



★取り付けベルトは、左右交互に数回に分けて締めることをおすすめします。
※取り付けベルトはしっかりと締めてください。緩みがある状態で使用しますと脱落の原因となり大変危険です。

④ 余った取り付けベルトを短く結び、左右のプレートのバランスを整えたら取り付け完了です。

左右のプレートが上下に大きく動く場合は立体ベルトを締めなおしてください。



②_上カバーを取り付ける

日よけとして！

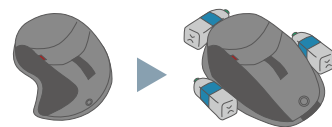
箱から出してすぐは、上カバーがゆがんでいる場合があります。歪みがある程度直してから取り付けを行ってください。

歪みがひどい場合は…？

平らな場所で一番外側の芯材を床に沿わせた状態で1時間程度置いておくと歪みが緩和されます。



外側の芯材を平らな状態で保つ



形を整え重しを乗せ、1時間以上置いておく
重しには2Lのペットボトルや雑誌の束などがおすすめです。

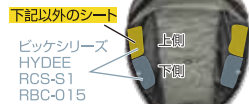
- ① 上カバー中央の穴の内側から落下防止ベルトを外へ出し、穴の下の方ファスナーに貼り合わせます。



※落下防止ベルトは必ずとめてください。

- ② 上カバーが斜めにならないよう注意し、内側左右の面ファスナーを取り付けプレートの面ファスナーBに貼り合わせます。

ビックシリーズ・HYDEE・RCS-S1・RBC-015(カジュアル)の場合は下側の面ファスナーでもご利用いただけます。上記以外のシートは基本的に上側の面ファスナーをご利用ください。



下記以外のシート
ビックシリーズ
HYDEE
RCS-S1
RBC-015



完成図

★ビックシリーズ、HYDEEは上カバーだけで使用する場合、他機種に比べぐらつき安定性が劣ります。必ず同梱の「上カバー安全ゴムフック」を使用し、上カバーのぐらつきを止めて、安全にご使用ください。

③_下カバーを取り付ける

雨よけ・寒さよけに！

- ① ファスナーで下カバーと上カバーをつなぎ、サイドのボタンを留めます。

※通気性を確保するため、上部約20cmはファスナーが付いていません。



乗せ降ろしの際には、左右どちらかのファスナーを外してください。左右どちらからも乗り降りできます。



ボタンはお子さまの力でファスナーを開けてしまうことを防ぐためのものです。必ず留めてご使用ください。

乗せ降ろしの際は、ファスナーの持ち手部分を持ってカバーの開閉を行ってください。

ただし、転倒などによる**緊急脱出のときは**
下カバー上部の隙間をもってガバッと開き、お子様の救出を行ってください。



- ② フットレストにゴムを掛け、スノのたるみを調節します。

ゴムが長く余る場合は車輪に巻き込まれないように結ぶなどしてご使用ください。



- ③ 背面のバックルをつなぎ、全体を整えるように調節してください。



完成図

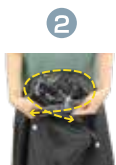
下カバー脱落防止のためバックルは必ずご使用ください。

下カバーの収納方法

- ① 下カバーは収納する前に下記のたたみ方を必ず習得してください。他の方法で収納すると変形や破損の原因になります。



透明部分を内側にたたむ



芯材を折らずに丸める



カバーを巻き付ける



上カバーのポケットに収納

盗難に備えて

背面にあるロック穴を利用して、カバーと自転車を固定してください。
※ロックは別売りです。



ご注意：上カバーを小さくすることについて

販売時には輸送コスト削減のため上カバーを小さくたたんでありますが、基本的に上カバーを折り曲げることはおすすめできません。芯材(POM)に過度な力がかかると変形する場合があります。変形した芯材は丁寧に復元してください。また、保管時も折り曲げないことをおすすめします。

ご注意：駐輪場所と下カバーの扱いについて

- レインカバーを装着した自転車は、雨ざらしや直射日光の当たる場所で保管、駐輪はしないでください。
- ⚠ 夏場は直射日光にさらされるとカバー温度が70度以上の高温になる場合があります。経時変化を促進し、変形、変色の原因になります。
- ⚠ 下カバーをポケットに収納したまま放置しないでください。高温時に透明窓がくもったり融着する場合があります。
- ⚠ 低温時は透明窓が硬くなります。下カバーを小さくしたり大きくひろげるときは、暖かい場所で行ってください。低温下での作業は透明窓の破損の原因になりますので避けください。

使用上の注意

●本製品はお子さまの送迎を目的とする簡易雨具および簡易日除けです。他の目的で使用しないでください。●通気性を考慮して設計していますが、下カバーを閉じて使用する場合はお子さまの様子をまめに確認し、通気や水分補給に十分注意してください。また、お子さまをカバー内に残したまま短時間でも離れないでください。●本製品とお子さまとの間に適度な空間ができます。お子さまにヘルメットを必ず着用させてからご使用ください。着用していない場合事故時に重篤化する恐れがあります。●風の強いときは絶対に使用しないでください。風にあおられ大変危険です。●夏日に下カバーを閉じて使用する場合、カバー内が高温になることがあります。カバー内のお子さまの様子をまめに確認し、熱中症にならないように水分補給に十分注意してください。●本製品を使用する場合、通常時に比べハンドル操作や制動機能が異なります。事前に安全な場所で走行練習を十分行ってからご使用ください。●走行前には必ず各パーツが外れていないか確認してください。特に取り付けプレートの取付部に緩みがないか確認してください。そのまま放置して走行すると、背面のバックルやカバーのスノなどが車輪に巻き込まれたり、上カバーが脱落するなど大変危険です。●本製品は完全防水ではありません。使用状況によっては縫い目や通気口、ファスナー部分から多少雨水が浸入することがあります。●雨ざらしや直射日光の当たる場所で保管、駐輪はしないでください。退色や変形など劣化の原因になります。また、つけっぱなしのご使用はお避けください。●濡れたまま放置しないでください。カビや変色の原因となります。●透明部材は特性上キズや白濁が目立つことがあります。●芯材は強い力で折り曲げたりしないでください。変形の原因になります。●透明部材と芯材は特に冬場の低温時は無理に扱うと、折れたり割れたりする原因になります。十分ご注意ください。●本製品に難燃性はあります。火気に近づけないでください。引火して火事やヤケドの原因になります。●自転車本体やチャイルドシートなどの鋭利な突起部分でキズつかないようにご注意ください。●自然光および照明などにより、通常のご使用でも若干の変退色は避けられませんでした。●濡れたあとは日陰の風通しのよい場所で自然乾燥させてください。●生地には撥水加工を施していますが、徐々に弱くなります。必要に応じて市販の撥水スプレーをご使用ください。(透明窓はお避けください。)なお、スプレー後すぐにお子さまを乗せないでください。●汚れは水またはぬるま湯で洗い流してください。洗濯機およびもみ洗いは避けください。●カバーは消耗品です。劣化が見られた場合は新しいものをお求めください。

発売元 MARUTO (有)大久保製作所 (適応身長) 70cm以上115cm以下

兵庫県赤松市山崎町野318 材質 生地/上カバー：ポリエステル+PU 下カバー：ポリエステル+PU 透明/TPE 芯材/POM

※本書に使用している写真は、取付方法や構造をわかりやすくするため、実際と異なる場合があります。 ※品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。

紙 台紙 袋 PP MADE IN CHINA